

業務部速報



No. 35

発行 21. 9. 2

JR東労組 業務部

幹本申9号

「新潟新幹線車両センター業務執行体制の見直しについて」に関する説明申入れ団体交渉を行う！①(9月1日開催)

1. 「検修技術」「交検」「臨修」の各グループと「検修当直」「駅派出」の各グループを統合する目的を明らかにすること。

組合 新潟新幹線車両センターでは業務を統合することが必要な判断だったのか。	会社 そうだ。親和性の高い作業内容の中でグルーピングをした。自分たちの業務を通じる作業も経験して、さらなるステップアップを目指す。
廃止に伴って交検の作業本数が減って、交検担当の働き方について見直さすのか。	交検だけではないが、臨修も含めて、新幹線全体として社員の成長に資すると考えている。
グループを統合して、業務が融合するが、これまでであったものと役割は変わらないのか。それぞれの役割は残るのか。	作業自体は今後も残る。その中で検修作業を担っていただくことの変更はない。
勤務指定は1日ごとの担務なのか。1ヶ月ごとの担務なのか、どのようになるのか。	基本的には1つの所を中心にして、他の担務も経験する。毎日のように臨修・交検というよりは、ベースをおいて、その時々に応じて交検・臨修としていく。統合して、すぐに出来ることを想定していない。社員のスキルに合わせて教育していく。
交検と担務を勤務指定されるのか。車両管理とグループで勤務指定されるのか。	現場で検討している。基本的には、軸となる部分は変わらない。
現時点では、発令行為で駅派出に行っている。今後は、発令行為で駅派出に行くのか。	発令はなくす考えである。
これまで発令を行ってきた根拠は何か。	事業所、作業場として距離があったためである。
今後は発令ではなく、勤務指定で行うのか。	そうだ。

これまでの役割は変わらないことを確認！

2. 「交番担当」の名称を「内勤」に変更する目的を明らかにすること。

組合 業務内容は変わらないのか。	会社 基本的な業務内容は特段変わらない。
業務内容が変わらないのに何故、名称を変更するのか。	交番担当という言葉は、新潟新幹線車両センターしか使っていない。他と統一したい。

業務等の体制が変わらないことを確認！

3. 各グループの統合による、技術継承と安全レベルの維持・向上する体制をどのように構築するのか明らかにすること。

組合 技術継承と安全レベルは、業務を統合することによって、どのように向上するのか。	会社 自分の業務と違う目線で見えることや、他の班の違うやり方を経験して、安全のレベルアップにつながる。
技能マップは班の統合に馴染まない。個々人の技能であって、枠としては馴染まない。	今のままをそのままやるのではなく、スキルを把握するかは現場で実態を分かる人が議論して検討している。